



JFAエリートプログラム

# JFA アカデミー 2018



# フィロソフィー

常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。

日本サッカー協会では、2005年1月1日に、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」という理念を実現するために、『JFA2005年宣言』を行いました。その中で2050年までには日本でのFIFAワールドカップの開催と優勝という明確な目標『JFAの約束2050』を掲げました。また、その目標に向けて2030年までに達成すべき新たな目標として、2030年にはサッカーファミリーが800万人に、FIFAワールドカップに出場し続けてベスト4に、これらを達成するために世界でトップ3の組織になるという『JFAの目標2030』を設定しました。

私たちは、現代の日本であまり使用されることのない「エリート」という言葉を使っています。「エリート」という言葉は日本の中では抵抗感が強く、根付いて来なかった概念であり、誤解を招きやすい面がありますが、本来の意味を重視し、敢えて使用しています。本来、「エリート」とは特権階級を指すものではなく、社会の各分野でのリーダーであり、むしろ先頭に立って闘いに行く存在、社会に対する責任を果たす存在を指すものなのです。

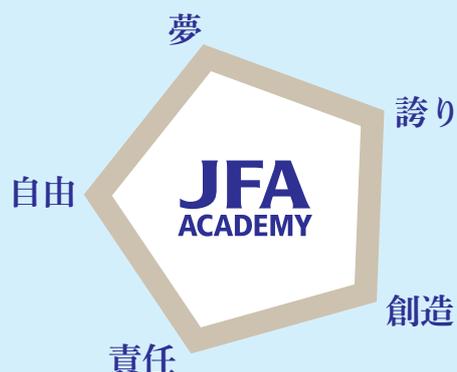
私たちはサッカー界で、真の意味でのエリートとなる人材を育てたいと思っています。それがサッカーの場面でも必要とされる判断力やリーダーシップの向上に大いにプラスになると考えていますし、また、サッカー界あるいはそれを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材を育成したいと考えています。リーダー不在、判断力不足は、現代の日本社会の大きな社会問題であるとも言えます。

サッカーという競技の特徴を把握した上で、子どもの発育発達の特徴を研究し、「長期的視野に立った育成」という観点から、それぞれの年代の特徴に最適な環境・指導を与えることが重要です。子どもは小さな大人ではなく、年齢に比例して一直線に成長していくわけでもありません。それぞれの年代にやるべきことをやって最終的な成長へと導いていくことが重要です。これは日本サッカー協会の育成の非常に大きなテーマです。

JFAアカデミーでは「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードとし、あくまでも個の育成を目的とします。ロジック形式による中高一貫教育により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成しています。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、JFAのフィロソフィーでもある、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間の育成を目的とします。才能を持つだけでは、必ずしも開花するとは限りません。才能を持つ者に良い環境を与え、本人の努力を伴わせることにより、世界に通用する選手を育成します。「世界基準」で日本をリードし、サッカーのみならず、広くスポーツ界、社会全体に発信できる、トータルなリーダーシップをそなえた人材の育成を目指しています。

## 校訓



この5つの言葉の真の意味を自分の言葉で言える  
「自立した個人」を育成します。



# 目的

「世界基準」をキーワードとし、個の育成を目的とします。

ロジング形式による教育により、能力の高い選手に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、世界に通用する選手を育成します。

また、サッカーはもちろん、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材、常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成します。

## ▶ トレーニングコンセプト

個性を輝かせるための基本となるテクニックの質を高め、サッカーの原理原則を理解するとともに習慣化、さらには仲間との関わりの質を高めていきます。長期一貫指導の中で、年代に即した育成を途切れなく徹底していきます。

## ▶ 育成年代で獲得すべきこと

動きながらのテクニック・判断力・持久力・動きの習慣化・観る・判断する



# 運営・活動

## ＜JFAアカデミー福島＞

福島県、広野町、榎葉町の協力のもと日本サッカー協会直轄事業として運営しています。

しかし、2011年3月11日の東日本大震災により福島県内での活動が不可能になり、2011年4月からは一時移転先として男子は「御殿場高原 時之栖」、女子は「帝人アカデミー富士」にて活動しています。

※2019年度入校生については、男子は中学校3年間のみのプログラム、女子は引き続き中学校・高校の6年間プログラムとなり2024年4月（高校3年時）に福島県に帰還します。福島県での再開計画についてはP7をご参照ください。

## ロジング（完全寄宿制）

JFAアカデミー福島は「完全寄宿制」を採用しています。チーム登録をして公式戦に参加しています。

|      | 運営全般・食事提供<br>施設利用調整        | 教育全般<br>施設改修・運営支援 | 普及・育成事業<br>指導者養成事業  | コーチ派遣<br>トレーニング    |
|------|----------------------------|-------------------|---------------------|--------------------|
| 熊本宇城 | 特定非営利活動法人<br>スポーツアカデミー熊本宇城 | 宇城市               | 一般社団法人<br>熊本県サッカー協会 | 公益財団法人<br>日本サッカー協会 |
| 堺    | 一般社団法人<br>大阪府サッカー協会        | 堺市                | 一般社団法人<br>大阪府サッカー協会 |                    |
| 今治   | 特定非営利活動法人<br>今治しまなみスポーツクラブ | 今治市               | 一般社団法人<br>愛媛県サッカー協会 |                    |

## ＜JFAアカデミー熊本宇城・堺・今治＞

地域を拠点とした関係団体が連携を図りながら、次世代を担う子どもたちのエリート育成施設として、それぞれが役割と責任を果たして運営しています。

## ロジング（寄宿制）+週末帰省

JFAアカデミー熊本宇城・堺・今治は、平日は寮に寄宿しアカデミーでの活動を行い、週末や長期休暇は帰省し地元のチームでの活動を行う『週末帰省型』を採用しています。そのため毎週末無理なく帰宅できる範囲を対象としています。

また、チーム登録をしてチームとしての公式試合活動は行ないません。（トレーニングの一環としてトレーニングゲームを行うことがあります。）

## ＜進路変更について＞

アカデミー在学中に様々な理由によりアカデミーでの活動の継続が困難になる場合も想定されます。その場合は個々のケースに応じて、選手本人にとって最も良い方法を、本人や家族、所属チーム、学校等と協議・検討し、判断していきます。

卒校後の進路についても、本人や家族、所属チーム、学校等と協議し、最も良い選択を共に行っていきます。

# 学校・寮

居住地の学区にある公立学校に通学し、学校生活を送ります。サッカーのプログラムだけでなく、学生にふさわしい学校生活・社会生活を大いに重視しながら、勉強面での指導も行ないます。

※ 2019年度入校生

|      | 中学校         | 高校                            | 寮                       |
|------|-------------|-------------------------------|-------------------------|
| 福島男子 | 御殿場市立富士岡中学校 |                               | 御殿場高原時之栖                |
| 福島女子 | 裾野市立富岡中学校   | 福島県立ふたば未来学園高等学校 <sup>※1</sup> | 帝人アカデミー富士 <sup>※2</sup> |
| 熊本宇城 | 宇城市立小川中学校   | —                             | 宇城市立ふれあいスポーツセンター内       |
| 堺    | 堺市立月州中学校    | —                             | J-GREEN堺 DREAM CAMP     |
| 今治   | 今治市立朝倉中学校   | —                             | 旧今治市立上朝小学校              |

※1 福島県と静岡県との学校間連携により単位互換が認められ、静岡県立三島長陵高等学校に通学します。(女子：高校1、2年時のみ)

※2 高校3年時にJFAアカデミー福島女子寮(榎葉町中高一貫教育施設・サッカー人材育成支援センター)に移動予定



# 費用

アカデミーの活動には、入学手続金(初年度のみ)と毎月の活動費がかかります。

2

## ▶▶ 活動費に含まれる費用(抜粋)

- 住居費、食費、水道光熱費
- トレーニング用品
- 傷害保険費用
- JFAプログラムに関わる費用
- アカデミー事業/活動に関わる費用

## ▶▶ 活動費に含まれない費用(例)

- 学校に関わる費用(制服、学用品、給食費、教材費等)
- 帰省(帰宅)に関わる費用
- ※ 所属チームに関わる費用(熊本宇城・堺・今治)等

## ▶▶ 活動費の減免について

ご家庭の経済状況や事情の変化により、アカデミーに支払う活動費に対する減免を行う場合があります。

|                        |           | 初年度        | 2年目以降     |
|------------------------|-----------|------------|-----------|
| 入学手続金                  | 福島        | 200,000円   | —         |
|                        | 熊本宇城・堺・今治 | 150,000円   |           |
| 活動費<br>(住居費、食費、水道光熱費等) |           | 月額80,000円  | 月額80,000円 |
| 合計(年間)                 | 福島        | 1,160,000円 | 960,000円  |
|                        | 熊本宇城・堺・今治 | 1,110,000円 |           |



# JFAプログラム

サッカーは多くの仲間との関わりが重要です。ピッチ内外で起きる様々なことに対して、自ら対応し解決し、自立した個人に成長していくためにも、ピッチ外での人間的な教育も重視し、それらを「JFAプログラム」と総称し、実施しています。

## 》プログラム (例)

|                 |                  |       |        |        |
|-----------------|------------------|-------|--------|--------|
| 英会話             | ロジカルコミュニケーションスキル | 公文式   | 学習サポート | 大会運営補助 |
| 東進ハイスクール在宅受講コース | マナーセミナー          | 清掃活動  | ASE    | 相撲部屋実習 |
| 労作体験 (稲作等)      | 健康教育             | AED講習 | 地域行事参加 | 栄養セミナー |

※内容はアカデミーや年度によって異なります。

### 英会話

世界で活躍できる人材の育成の一環として、英会話プログラムを導入しています。

少人数制で会話の機会を増やすことにより、海外遠征など他国選手との交流時に活用できるよう取り組んでいます。



### ロジカルコミュニケーションスキル

論理的に組み立てる思考力や分析力、人前で話す能力や講義をするための能力などを身につけます。

これは日常での他者との会話に生かすだけでなく、一瞬の判断が求められるサッカーの試合中にも活用できるよう取り組んでいるプログラムです。



### マナーセミナー

挨拶、言葉遣い、食事、手紙の書き方などを学びながら、マナーの本質とは何かを考え、他者への思いやり、感謝の心を育みます。



## 大会運営補助

SAMURAI BLUE やなでしこジャパンなどの日本代表の国際試合だけでなく、国内リーグの試合でも、試合運営をサポートする役割を担います。

多くのスタッフの支えにより試合が運営されていることを知る、また選手を身近に感じることで自分の将来を強く意識するきっかけになります。



## 労作体験

勤労・忍耐力・奉仕などの道徳的価値の育成を重視した、人間形成を行うプログラムです。

稲作などの労作体験を通して、地域の方々との交流も大切にしています。



## 》海外遠征・研修プログラム

世界基準のサッカーを体験すること、そして、海外の歴史、生活、教育、スポーツ、自然などの文化に触れることで世界を身近に感じることが目的としています。



# 卒校生コメント



JFA アカデミー福島男子  
1期生



遠藤 翼

トロントFC (カナダ)

JFA アカデミーでの生活は刺激があり、充実していました。毎日サッカーができる幸せ、チームメイトと経験のあるスタッフやコーチのもとで毎日切磋琢磨できる環境を当たり前と思わないで欲しいです。栄養管理された食事、コミュニケーションスキルの授業、練習場が徒歩の距離にあるなど例を挙げたらきりがありません。

僕はJFA アカデミーでの濃い6年間を経て、アメリカの大学へと進学してそこで4年間また違う環境で揉まれて、プロサッカー選手になりました。僕が皆さんに言えることは、とにかく毎日練習して上達したいという気持ちを持つことです。もちろん苦しいこともあると思いますが、とにかく毎日を楽しんで生活することが一番大事だと思います。



JFA アカデミー福島女子  
5期生



北川 ひかる

浦和レッドダイヤモンズレディース

「私の夢はなでしこジャパンに入ってオリンピックやワールドカップに出場することです。」

この言葉は、私が入校式で決意表明をした時の一言です。

この夢を実現するために、JFA アカデミー福島で6年間、サッカーを中心とした寮生活をしてきました。整った環境、明確な目標を持った仲間たち、毎日が刺激的で、このアカデミーに入っていなければ今の自分はいないと常に実感しています。

現在私は浦和レッズレディースでプレーし、なでしこジャパンにも選出されることができました。

ここまでこれたのは、サッカーに集中できる環境が整い、素晴らしい指導者やスタッフのみなさんのもとで練習に励むことができ、そして、目標に向かって一つひとつ取り組むことができたからだと思います。

6年間は長いようでとても短いです。楽しいこと、嬉しいこともあれば悔しいこと、辛いこともたくさんあります。ですが、どんな時も側にいて支え合える仲間がいることで充実した学生生活をおくることができます。ぜひ、JFA アカデミー福島で夢に向かって突き進んでください。



JFA アカデミー熊本宇城  
4期生



井澤 春輝

徳島ヴォルティス

JFA アカデミーは自分を大きく成長させてくれた場所であり、この3年間があったからこそ今の自分があると思います。僕は足が速いわけでもなく身体能力も高くありません。だからこそアカデミーで教わった、パス、コントロール、周りを観る、予測する、切替えの速さといったことをとても大切にしています。

また寮生活を送ることで親への感謝の気持ちを持つようになり、仲間の大切さに気付きました。さらに洗濯や掃除等は自分達で行い、寮での問題があればミーティングを開いて自分たちで解決するといった事を重ねていく中で自立することもできました。

3年間で失敗を恐れずにどんどんチャレンジしてください。そして自分の目標に向かって、頑張ってください。僕も皆さんに負けられないように頑張ります。



JFA アカデミー堺  
1期生



宝田 沙織

セレッソ大阪堺レディース

私は、JFA アカデミー堺で過ごした3年間で、たくさんのことを教わりました。

サッカー面では、整備された芝のグラウンドで毎日トレーニングすることができました。また、コーチ陣は私たちが世界に通用する選手になるためにいつも真剣に、そして適切なアドバイスをくれました。3年生の時には海外遠征も経験できました。

寮生活の面では、平日は親もとを離れ自分のことは自分でする生活を送りました。決められた時間の中で掃除、洗濯、学習、自主トレーニングなどの時間配分を自分で考えて行なっていくことが求められ、その力が付きました。

JFA アカデミー堺で過ごす中学3年間はとても濃い時間でした。中学生から親もとを離れることは不安もありましたが、今思えば自分を成長させてくれた貴重な3年間でした。この経験があるから、今の自分がいると感じています。



JFA アカデミー今治  
1期生



松本 有未

大商学園高等学校

「世界で活躍するプロサッカー選手になる」という目標を胸にJFA アカデミー今治に入校し、スタートした寮生活。初めてのことが多く、仲間とぶつかり合ったり悩んだりしたことをよく覚えています。今治での3年間はとても充実していました。それは、私たちの夢を応援しサポートしてくれる方々がそばにいることや、夢に近づくために素晴らしい環境でたくさん学ぶことができたからです。これらは、誰でも経験できるものではなく、アカデミー生だからこそできたことです。

私は現在も入校時と同じ「世界で活躍するプロサッカー選手になる」という目標に向かって高校という新たなステージで過ごしています。高校生活ではアカデミーで培ってきた基礎に積み上げ、これから先どんなときもJFA アカデミー今治1期生であることを誇りに思い過ごしていきます。



# JFA アカデミー 福島



## トレーニング・ゲーム環境

### 男子

中学生は3カテゴリー、高校生は2カテゴリーに分かれてトレーニングを行ない、リーグ戦や大会に参加します。

### 女子

中学生と高校生の2カテゴリーに分かれてトレーニングを行ない、リーグ戦や大会に参加します。

|     | 男子   | 女子  |
|-----|--|---|
| 中学生 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○高円宮杯全日本U-15選手権大会</li> <li>○日本クラブユース選手権 (U-15) 大会</li> <li>○U-15, U-13 東海リーグ 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全日本U-15女子選手権大会</li> <li>○U-15 プレナスなでしこアカデミーカップ 等</li> </ul> |
| 高校生 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○高円宮杯U-18 プリンスリーグ東海</li> <li>○日本クラブユース選手権 (U-18) 大会</li> <li>○静岡県U-18リーグ 等</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○プレナスチャレンジリーグ</li> <li>○皇后杯全日本女子選手権大会 等</li> </ul>           |

## スタッフ体制

|          | 男子                       | 女子     |
|----------|--------------------------|--------|
| スクールマスター | 小池 征<br>(一財) 福島県サッカー協会会長 |        |
| 統括ダイレクター | 山口 隆文                    | 大野 真   |
| チーフコーチ   | 中田 康人                    |        |
| コーチ      | 山尾 光則                    | 賀谷 英司  |
|          | 船越 優蔵                    | 見汐 翔太  |
|          | 廣山 望                     | 坂尾 美穂☆ |
|          | 藤代 隆介                    | 津田 恵太  |
|          | 松岡 仁司                    | -      |

|       | 男子     | 女子     |
|-------|--------|--------|
| GKコーチ | 加藤 好男☆ |        |
|       | 佐野 智之  | 加藤 竜二☆ |
|       | 藤井 泰行  | -      |
| トレーナー | 安藤 貴之  | 檜山 里美  |
|       | 赤羽 達也  | -      |
| 総務    | 堤 葉子   |        |
|       | 時實 俊輔  | 後藤 美奈  |
|       | 芝 脩希   | -      |

☆印は、JFA ナショナルトレセンコーチ兼務

## スケジュール (平日)

|     | 6:00  | 7:00 | 8:00 | 9:00 ~ 15:00 | 16:00 | 17:00  | 18:00    | 19:00 | 20:00          | 21:00 | 22:00    | 23:00 |
|-----|-------|------|------|--------------|-------|--------|----------|-------|----------------|-------|----------|-------|
| 中学生 | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    | トレーニング | 帰寮/入浴    | 夕食    | JFAプログラム<br>学習 |       | 週番<br>活動 | 消灯    |
| 高校生 | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    | トレーニング | 帰寮<br>入浴 | 夕食    | 東進プログラム        |       | 週番<br>活動 | 消灯    |

## 代表活動 ※アカデミー在籍中

各年代の代表選手も輩出しています。

| 男子            |    |      | 女子                         |    |
|---------------|----|------|----------------------------|----|
| —             | —  | 2017 | AFC U-19女子選手権              | 2名 |
|               |    |      | AFC U-16女子選手権              | 5名 |
| AFC U-16選手権   | 3名 | 2016 | FIFA U-17女子ワールドカップ (ヨルダン)  | 2名 |
| AFC U-16選手権予選 | 3名 | 2015 | AFC U-19女子選手権              | 1名 |
|               |    |      | AFC U-16女子選手権              | 4名 |
| AFC U-16選手権   | 1名 | 2014 | FIFA U-17女子ワールドカップ (コスタリカ) | 4名 |

## 卒校生進路 (卒校時) ※順不同

### 男子

- FC東京
- 湘南ベルマーレ
- モナルカス・モレリアU-20 (メキシコ)
- 1860ミュンヘンU-19 (ドイツアマチュア)
- 立教大学
- 順天堂大学
- 大阪経済大学
- 近畿大学
- 中央大学
- 明海大学
- 早稲田大学
- 関東学院大学
- 大分トリニータ
- アビスパ福岡
- 立命館大学
- 青山学院大学
- 神奈川大学
- 高知大学
- 東京国際大学
- 明治大学
- 大東文化大学
- 東京メディカルスポーツ専門学校
- ヴァンフォーレ甲府
- AC長野パルセイロ
- ディジョン (フランス)
- メリーランド大学 (アメリカ)
- 日本体育大学
- 静岡産業大学
- 関西大学
- 神戸大学
- 同志社大学
- 桃山学院大学
- 中京大学
- ファジアーノ岡山
- レノファ山口
- ボナーSC (ドイツU-19アマチュア)
- 甲南大学
- 東京学芸大学
- 北海道教育大学
- 九州共立大学
- 仙台大学
- 新潟経営大学
- 流通経済大学
- 國學院大学
- 清水エスパルス
- 中央大学
- 国士舘大学
- 愛知学院大学
- 京都産業大学
- 筑波大学
- 阪南大学
- 日本大学
- 大阪産業大学

### 女子

- INAC神戸レオネッサ
- ASエルフェン埼玉
- コノミヤ・スベランツァ大阪高槻
- S.D.エイバル (スペインアマチュア)
- 神奈川大学
- 慶應義塾大学
- 帝京平成大学
- アルビレックス新潟レディース
- マイナビベガルタ仙台レディース
- 1.FFCフランクフルト (ドイツアマチュア)
- フロリダ州立大学 (アメリカ)
- 宇都宮大学
- 産業農業大学
- 武庫川女子大学
- 浦和レッドダイヤモンズレディース
- ノジマステラ神奈川相模原
- MSVデュイスブルグ (ドイツアマチュア)
- 日本体育大学
- 大阪国際大学
- 順天堂大学
- 早稲田大学
- 関東学園大学
- 筑波大学
- 吉備国際大学

## 【重要】JFAアカデミー福島福島の福島県での再開について

東日本大震災により静岡県に一時移転しているJFAアカデミー福島の活動を以下の通り福島県広野町(男子)、楡葉町(女子)にて再開させる予定です。

### 1. JFAアカデミー福島男子に関する再開方法

- (1) 再開時期 2021年4月
- (2) 再開方法 2021年4月より中学1年生から1学年ずつ順次入校し(16期生)活動を再開します。2026年4月、21期生入校により6学年が揃います。
- (3) 静岡県での活動 2019年および2020年に入校するアカデミー生(14期生、15期生)は中学3年間のみのプログラムとなります。

### 2. JFAアカデミー福島女子に関する再開方法

- (1) 再開時期 2024年4月
- (2) 再開方法 全学年(中学3学年、高校3学年)で活動を再開します。2024年3月の時点で静岡県で活動している5学年(14期生~18期生)は福島県に帰還し、2024年4月、19期生の入校により6学年が揃います。

上記に伴い、2019年度入校生については、以下のプログラムにて実施致します。

**男子** 中学校3年間のみのプログラムとし、2021年3月、中学校卒業をもってアカデミーは卒校となります。

**女子** これまで同様中学校・高校の6年間のプログラムとなり、2024年4月、福島県に帰還します。高校3年生の1年間は福島県にて活動し卒校となります。



「JFAアカデミー福島は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。」



# JFA アカデミー 熊本宇城



## 宇城市の協力

JFAの「JFA2005年宣言」の趣旨に賛同した熊本県宇城市が、その約束の実現に向けて大きな担い手となる子どもたちのために、サッカーを通じて、「大きな夢を抱ける環境」を用意することが大人の使命であると考え、地域拠点の設立を決定しました。地域の拠点として、若年層育成のフィロソフィーや方法を発信するとともに、ハード、ソフトの両面で地域のスポーツの発展に貢献・寄与することを主眼に置いた、JFAアカデミー熊本宇城開校の受け皿となるべく「特定非営利活動法人スポーツアカデミー熊本宇城」が設立されました。「JFAアカデミー熊本宇城」の招致を目指し、地元自治体(宇城市)の協力の下、県サッカー協会と協力体制を構築しながら開校に向け計画を進めてきました。

特定非営利活動法人スポーツアカデミー熊本宇城は「熊本県及び西日本地域におけるスポーツ活動の普及および振興を図り、スポーツを通してのまちづくり、地域活性化、人材育成に関する事業を行い、地域社会の貢献活動に寄与する」を実現(達成)するため、関係各団体等と連携を図りながら、地域の拠点として、次世代を担う子どもたちへの一助となるべく役割を果たしていくことを目的としています。

## スタッフ体制

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| スクールマスター | 井 薫<br>(一社)熊本県サッカー協会名誉会長 |
| 統括ダイレクター | 山口 隆文                    |
| チーフコーチ   | 宮川 真一☆                   |
| コーチ      | 小川 秀樹☆                   |
|          | 西條 祐平                    |
| GKコーチ    | 墨屋 孝☆                    |
| トレーナー    | 中村 亮太                    |

☆印は、JFAナショナルトレセンコーチ兼務



## 📅 スケジュール

|      | 6:00  | 7:00 | 8:00 | 9:00 ~ 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00                 | 19:00 | 20:00       | 21:00             | 22:00 | 23:00 |
|------|-------|------|------|--------------|-------|-------|-----------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------|
| 月曜   | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    |       | 夕食                    |       | JFAプログラム/学習 |                   | 消灯    |       |
| 火・木曜 | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    |       | トレーニング                |       | 夕食          | JFAプログラム<br>学習    |       | 消灯    |
| 水曜   | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    |       | トレーニング<br>(トレーニングマッチ) | 夕食    |             | JFAプログラム/学習       |       | 消灯    |
| 金曜   | 起床&清掃 | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    |       | トレーニング                | 帰省 ←  |             |                   |       |       |
| 土曜   | ←     |      |      |              |       |       |                       |       |             |                   |       |       |
| 日曜   |       |      |      |              |       |       |                       |       | 帰寮          | コンディショニング<br>チェック |       | 消灯    |

## 🏆 在校生所属チーム (2018年4月現在) ※順不同

選手は毎週末や長期休暇には自宅へ帰省、自宅近くのチームに所属(登録)し、週末や帰省時には所属チームでのトレーニングや試合などの活動を行います。

- アビス福岡 U-15 (福岡県)
- 川崎 FC (福岡県)
- 福岡 BUDDY FC U-15 (福岡県)
- V・ファーレン長崎 U-15 (長崎県)
- UKI-C.FC (熊本県)
- FCK MARRY GOLD KUMAMOTO (熊本県)
- プログレッソン日向フットボールクラブ (宮崎県)
- アリーパFC (宮崎県)
- FC KAJITSU U-15 (鹿児島県)
- ルーヴェン福岡 フットボールクラブ (福岡県)
- IBUKI 北九州 (福岡県)
- DEMAIN SOLEIL 福岡 (福岡県)
- カティオーラフットボールクラブU-15 (大分県)
- ブレイズ熊本 (熊本県)
- FCK MARRY GOLD AMAKUSA U15 (熊本県)
- セレソン都城FC (宮崎県)
- フォルトゥナ延岡フットボールクラブU-15 (宮崎県)
- 鹿児島ユナイテッドFC U-15 (鹿児島県)
- 筑後サザンFCサレストレーラ (福岡県)
- 西南フットボールクラブU-15 (福岡県)
- FCソレイユ 2008 (佐賀県)
- 太陽スポーツクラブ熊本 (熊本県)
- ソレソン熊本 (熊本県)
- 太陽スポーツクラブ熊本玉名U-15 (熊本県)
- ロンドサッカークラブU-15 (宮崎県)
- FCアララウ鹿児島U-15 (鹿児島県)
- 鹿児島ユナイテッドFC U-15日置 (鹿児島県)



## 🏆 卒校生進路 (卒校時) ※順不同

- JFAアカデミー福島
- 清水エスパルスユース (静岡県)
- ファジアーノ岡山U-18 (岡山県)
- V・ファーレン長崎ユース (長崎県)
- 前橋育英高等学校 (群馬県)
- 帝京長岡高等学校 (新潟県)
- 立正大学湘南高等学校 (島根県)
- 九州産業大学付属九州高等学校 (福岡県)
- 福岡県立八女高等学校 (福岡県)
- 長崎総合科学大学附属高等学校 (長崎県)
- 熊本国府高等学校 (熊本県)
- 熊本県立熊本農業高等学校 (熊本県)
- 大分鶴崎高等学校 (大分県)
- 鵬翔高等学校 (宮崎県)
- 神村学園高等部 (鹿児島県)
- 鹿島アントラーズユース (茨城県)
- 京都サンガF.C.ユース (京都府)
- サンフレッチェ広島F.C.ユース (広島県)
- ロアッソ熊本ユース (熊本県)
- 船橋市立船橋高等学校 (千葉県)
- 滋賀県立草津高等学校 (滋賀県)
- 岡山県作陽高等学校 (岡山県)
- 東福岡高等学校 (福岡県)
- 佐賀県立佐賀東高等学校 (佐賀県)
- 熊本学園大学付属高等学校 (熊本県)
- 熊本県立大津高等学校 (熊本県)
- 熊本県立第二高等学校 (熊本県)
- 大分県立中津南高等学校 (大分県)
- 日章学園高等学校 (宮崎県)
- 浦和レッドダイヤモンズユース (埼玉県)
- ヴィッセル神戸U-18 (兵庫県)
- アビス福岡ユース (福岡県)
- 大分トリニータU-18 (大分県)
- 静岡学園高等学校 (静岡県)
- 京都橘高等学校 (京都府)
- 高川学園高等学校 (山口県)
- 東海大学付属福岡高等学校 (福岡県)
- 創成館高等学校 (長崎県)
- 東海大学付属熊本星翔高等学校 (熊本県)
- 熊本県立熊本商業高等学校 (熊本県)
- 秀岳館高等学校 (熊本県)
- 日本文理大学附属高等学校 (大分県)
- 鹿児島実業高等学校 (鹿児島県)



# JFA アカデミー 堺



## 堺市及び大阪府サッカー協会の協力

堺市が2010年4月に「堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター（愛称：J-GREEN 堺）」を開設し、同施設がスポーツ交流の拠点としての機能を更に強化するため、利便性向上等の観点から、堺市並びに一般社団法人大阪府サッカー協会が連携し、同施設内に於いて宿泊施設の整備を進め、2012年4月に「DREAM CAMP」がオープンしました。JFAアカデミー堺はその一部を寮として専用利用しています。JFAが「JFA2005年宣言」で示した理念やビジョンのもと、堺市並びに一般社団法人大阪府サッカー協会がこれらに賛同し、継続的に協力・連携していくことから、JFAアカデミー堺の開校に至りました。

JFAアカデミー堺が、これからの日本を代表するエリートを育成する機関としてだけでなく、更には堺市が策定している「堺市マスタープラン」で示されている「未来を拓く人材をはぐくむ教育環境の充実」を実践する場としても、推進していくことが重要です。

## スタッフ体制

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| スクールマスター | 赤須 陽太郎<br>(一社) 大阪府サッカー協会会長 |
| 統括ダイレクター | 大野 真                       |
| チーフコーチ   | 加藤 賢二☆                     |
| コーチ      | 三輪 由衣☆                     |
|          | 込山 友                       |
| GKコーチ    | 櫛引 実                       |
| トレーナー    | 小野 美香                      |
| 総務       | 大江 あかり                     |

☆印は、JFAナショナルトレセンコーチ兼務







# JFA アカデミー 今治



## 🏠 今治市、一般社団法人愛媛県サッカー協会、地元団体、企業の協力

今治市を中心に一般社団法人愛媛県サッカー協会の協力のもと、招致の要望により、女子育成年代のプルアップ効果が期待されるとともに、普及・育成事業や指導者養成事業の面でも拠点となり得る（ボトムアップ）等、愛媛県今治市を中心に四国・中国地域及び九州の一部を範囲として、女子サッカーの今後の発展に期待し、2015年4月にJFAアカデミー今治は開校しました。

JFAアカデミーのフィロソフィーに基づき、中学生年代（3年間）の女子の育成に直接的に働きかけ、JFAアカデミーが地域の拠点として機能するとともに、さらにその地域のタレント発掘や育成、普及、指導者養成等について活性化を図ることを目的としています。

開校に際し、今治市、地元企業、運営主体である特定非営利活動法人今治しまなみスポーツクラブにより、宿舎として利用している旧上朝小学校（2014年3月閉校）の校舎の改修、教育委員会による中学校との連携、グラウンド利用の調整など、市として一貫した支援体制を作り、アカデミーを総合的に支援しています。

## 👥 スタッフ体制

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| スクールマスター | 豊島 吉博<br>(一社)愛媛県サッカー協会会長 |
| 統括ダイレクター | 大野 真                     |
| チーフコーチ   | 影山 啓自☆                   |
| コーチ      | 木村 リエ☆                   |
|          | 植村 公亮                    |
| GKコーチ    | 安藤 信也☆                   |
| トレーナー    | 松本 小葉                    |
| 総務       | 松宮 美里                    |

☆印は、JFAナショナルトレセンコーチ兼務



## 📅 スケジュール

|       | 6:00 | 7:00 | 8:00 | 9:00 ~ 15:00 | 16:00 | 17:00  | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00          | 22:00 | 23:00 |
|-------|------|------|------|--------------|-------|--------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 月曜    | 起床   | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    |        |       |       | 夕食    | JFA<br>プログラム   | 学習    | 消灯    |
| 火曜～木曜 | 起床   | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    | トレーニング |       |       | 夕食    | JFAプログラム<br>学習 |       | 消灯    |
| 金曜    | 起床   | 朝食   | 登校   | 学校           | 下校    | トレーニング |       | 軽食    | 帰省 ←  |                |       |       |
| 土曜    | ←    |      |      |              |       |        |       |       |       |                |       |       |
| 日曜    | →    |      |      |              |       |        |       |       |       | 帰寮             |       | 消灯    |



## 🏆 在校生所属チーム (2018年4月現在) ※順不同

選手は毎週末や長期休暇には自宅へ帰省、自宅近くのチームに所属(登録)し、週末や帰省時には所属チームでのトレーニングや試合などの活動を行います。

- 青崎フットボールクラブ Hanako Clover's (広島県)
- FCバイエルンツネイシレディース (広島県)
- ANGEVIOLET BINGO (広島県)
- F.C.コマレディースアザレア (香川県)
- FC STORY Tokushima メニーナ (徳島県)
- 徳島ラディーシャ (徳島県)
- FC今治ひうちレディース (愛媛県)
- FC今治 U-15 (愛媛県)
- 愛媛FCレディースMIKAN (愛媛県)
- 愛媛ユナイテッドフットボールクラブU-15 (愛媛県)
- 高知学園女子サッカー部 (高知県)



## 🏆 卒校生進路 (卒校時) ※順不同

- FC今治ひうちレディース (愛媛県)
- 聖和学園高等学校 (宮城県)
- 星槎国際高等学校湘南 (神奈川県)
- 福井工業大学附属福井高等学校 (福井県)
- 大阪学芸高等学校 (大阪府)
- 大商学園高等学校 (大阪府)
- 神戸弘陵学園高等学校 (兵庫県)
- 日ノ本学園高等学校 (兵庫県)
- 広島文教女子大学附属高等学校 (広島県)
- 四国学院大学香川西高等学校 (香川県)

# NIKE FOOTBALL



TEAM BROCHURE 2018



オーダーはこちら \_\_\_\_\_

**NIKE.JP/TEAM**